

あの頃、みんなメキシコに憧れた

**Eyes on** 2.1sat
MEXICO 5.11sun
The Museum of Modern Art, Saitama

メキシコへのまなざし

2025年2月1日（土）— 5月11日（日）

Ⅰ 展覧会概要

1950年代の日本では、メキシコ美術が展覧会や雑誌を通じて盛んに紹介され、多くの美術家はその鮮やかな色彩、古代文明や革命の歴史と結びついた力強い造形表現に魅了されました。とりわけ、1955年に東京国立博物館で開催された「メキシコ美術展」は、美術家たちがメキシコに目を向けるきっかけとなります。一方、埼玉県立近代美術館は1982年の開館以来、メキシコの近現代美術を収集し、メキシコ美術に焦点をあてた展覧会をたびたび開催してきました。こうした活動の背景には、埼玉県とメキシコ州との姉妹提携締結（1979年）に加えて、1955年の「メキシコ美術展」を訪れ、メキシコ美術への造詣を深めていった初代館長・本間正義の存在がありました。

この展覧会では、1950年代にメキシコに惹かれた美術家の中から、福沢一郎、岡本太郎、利根山光人、芥川（間所）紗織、河原温の足跡をたどり、彼ら彼女らがメキシコをどのように捉えたのかを考えていきます。また当館のメキシコ美術コレクションとその形成の歩みを、学芸員としてメキシコ美術の普及に努めた本間正義の仕事とともに紹介します。作品や資料、開催された展覧会などを通じて、戦後日本がメキシコ美術に向けたまなざしを、様々な角度から検証する試みです。

■ 見どころ

1. メキシコ美術の魅力に触れる機会

1950年代、日本に大きな衝撃を与えたメキシコ美術。この展覧会では、1955年の「メキシコ美術展」（東京国立博物館）の出品作家の中から、メキシコ壁画運動を牽引したホセ・クレメンテ・オロスコ、ディエゴ・リベラ、ダビッド・アルファロ＝シケイロスや、次世代を代表するルフィーノ・タマヨなどの作品を紹介します。「メキシコ美術展」の出品作と考えられるシケイロスの作品や、壁画に関連する作品なども展示します。

2. 5人の美術家がメキシコに注いだまなざし

メキシコに魅了された日本の美術家の中から、福沢一郎、岡本太郎、利根山光人、芥川（間所）紗織、河原温の5人の活動に焦点を当てて紹介します。古代文明や壁画への憧れ、色彩や造形的な影響、言語への関心など、5人はそれぞれの視点からメキシコを捉え、自らの制作に反映させていきました。作品のみならず、メキシコで撮影した写真や蒐集した民芸品、当時の雑誌なども交えて、彼ら彼女らがメキシコに注いだまなざしについて検証します。

3. 当館のメキシコ美術コレクション、その形成の歩みを紹介

当館では、埼玉県とメキシコ州との姉妹提携締結にちなんで、メキシコ美術に関連する展覧会をたびたび開催し、メキシコの近現代美術を収集してきました。また、こうした活動の背景には戦後長らく東京国立近代美術館に勤務し、メキシコ美術の普及に努めた当館初代館長・本間正義（1916-2001）の存在があったといえます。この展覧会では、本間が手がけたメキシコ美術に関する仕事や、埼玉県とメキシコ州との交流について紹介し、当館のメキシコ美術コレクションの源をたどります。

■ 章構成

第1章：メキシコ美術がやってきた！

第2章：美術家たちのメキシコー5人の足跡から

第3章：埼玉とメキシコ美術

■ 出品予定作家

福沢一郎、岡本太郎、利根山光人、芥川（間所）紗織、河原温

ホセ・グアダルーペ・ポサダ、ホセ・クレメンテ・オロスコ、ディエゴ・リベラ、北川民次、ダビッド・アルファロ＝シケイロス、ルフィーノ・タマヨ、堀内秀夫、高橋力雄、ルイス・ニシザワ、吉田穂高、フランシスコ・トレド、マルティン・ディアス＝マンハーレス

■ 開催情報

展覧会名	メキシコへのまなざし
会 期	2025年2月1日（土） - 5月11日（日） ※一部展示替えあり 前期：3月23日（日）まで、後期：3月25日（火）から
休 館 日	月曜日（2月24日、5月5日は開館）
開館時間	10:00～17:30（展示室への入場は17:00まで）
観 覧 料	一般 900円（720円） 大高生 720円（580円） ・（ ）内は20名以上の団体料金 ・中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い1名を含む）は無料です。 ・企画展観覧券（ぐるっとパスを除く）をお持ちの方は、あわせてMOMASコレクション（1階展示室）もご覧いただけます。
出品点数	約120点
主 催	埼玉県立近代美術館
助 成	遠山記念館 芸術・学術研究等助成金
広報協力	JR東日本大宮支社、FM NACK5

■ 会場案内

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1 TEL: 048-824-0111 FAX: 048-824-0119

<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

- ・JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分。
- ・当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「タイムズ埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。団体バスは事前にご相談ください。
- ・お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので事前にご連絡をお願いします。
- ・状況により休館および会期変更の可能性があります。ご来館前に当館ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

■ 関連事業

○レクチャー「1955年のリアリズム」

講師 | 辻泰岳（美術史および建築史）

日時 | 2月8日（土）15:00～16:30（開場は14:30）

場所 | 2階講堂 定員 | 80人（申込不要、当日先着順） 参加料 | 無料

○レクチャー「岡本太郎とメキシコ」

講師 | 仲野泰生 (京都場館長／元川崎市岡本太郎美術館学芸員)

日時 | 2月24日 (月・休) 15:00～16:30 (開場は14:30)

場所 | 2階講堂 定員 | 80人 (申込不要、当日先着順) 参加料 | 無料

○トーク「1960年代メキシコ紀行—利根山光人のカメラを通して」

出演 | 立花雅子 (利根山光人長女／アルテトネヤマ理事)、佐伯綾希 (当館学芸員)

日時 | 3月1日 (土) 14:00～15:30 (開場は13:30)

場所 | 2階講堂 定員 | 80人 (申込不要、当日先着順) 参加料 | 無料

内容 | 利根山光人の長女でメキシコ民芸品店とメキシコ家庭料理の店を営んでいた立花雅子さんを迎え、利根山がメキシコで撮影した貴重な写真を紹介しながら、当時の思い出やメキシコの美術家との交流についてお話しいただきます。

○制作実演+トーク+映像上映出演 | イサイアス・ヒメネス (メキシコ民芸作家)、
山本正宏 (LABRAVA)

日時 | 3月22日 (土) 14:00～15:30 (開場は13:30)

場所 | 2階講堂 定員 | 80人 (申込不要、当日先着順)

参加料 | 無料

内容 | カラフルな彩色木彫りで知られるイサイアス・ヒメネス氏がメキシコより初来日！制作実演を交えながらのトークと、イサイアスの父でありオアハカン・ウッド・カーヴィング (メキシコのオアハカ州で作られる彩色木彫り) の創始者、マヌエル・ヒメネスのドキュメンタリー映像の上映も行います。

**○担当学芸員によるギャラリートーク**

日時 | 4月12日 (土)、5月4日 (日・祝) 15:00～ [1時間程度]

場所 | 2階企画展示室 *企画展観覧料が必要です。

■ スライド・トーク

ご希望のグループにスライドを使って本展覧会の見どころをご案内します (予約制)。

お問い合わせ、ご予約は教育・広報担当 (TEL: 048-824-0110) まで。

■ 同時開催

MOMA S コレクション (1階展示室)

■ 2024年11月30日 (土) - 2025年3月2日 (日)

「セレクション」「特集: 木村直道」「戦後日本美術の開拓者たち」

■ 2025年3月8日（土）－ 6月1日（日）
「セレクション」「アメリカの美術家たち」

アーティスト・プロジェクト #2.08（2階展示室D）
松平莉奈 コードとモード

■ 2025年2月1日（土）－ 5月11日（日）

■ 図録

展覧会図録『メキシコへのまなざし』（96頁、価格未定）を当館ミュージアム・ショップで販売いたします。

■ プレスカンファレンス

2025年2月1日（土）午後5時30分～（受付開始：午後5時）

埼玉県立近代美術館 2階展示室

上記の日程で、「アーティスト・プロジェクト#2.08 松平莉奈」と併せて、報道関係者を対象としたプレスカンファレンスを開催いたします。

参加ご希望の方は、p2401115@pref.saitama.lg.jp（担当・鳴原）までメールでお申し込みください。その際、貴社名、お名前、参加人数、テレビカメラの有無をお知らせください。

■ お問い合わせ

展覧会担当：吉岡、佐伯、篠原 / 広報・画像に関するお問い合わせ：鳴原

TEL: 048-824-0111（代表） / 048-824-0110（学芸直通） FAX: 048-824-0118（学芸直通）

p2401115@pref.saitama.lg.jp（企画展担当）

■ 広報用画像

画像のご提供については、当館にお問い合わせください。当館から画像をデータにてご提供いたします。

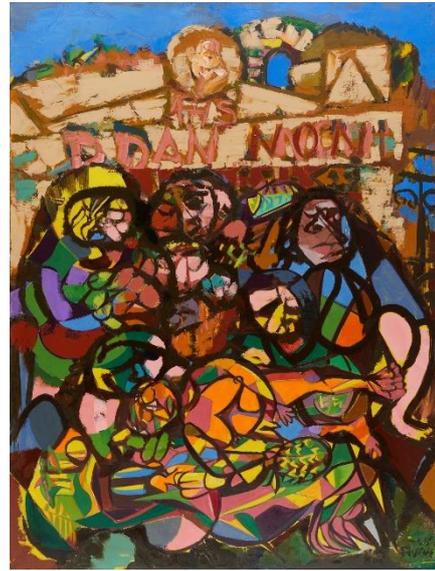
ご請求は p2401115@pref.saitama.lg.jp（担当・鳴原）まで、メールでお願いいたします。

- ・ 画像を掲載する場合は、作品のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・ 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ・ 掲載作品以外の画像をご希望の場合はお問い合わせください。

①



②



③



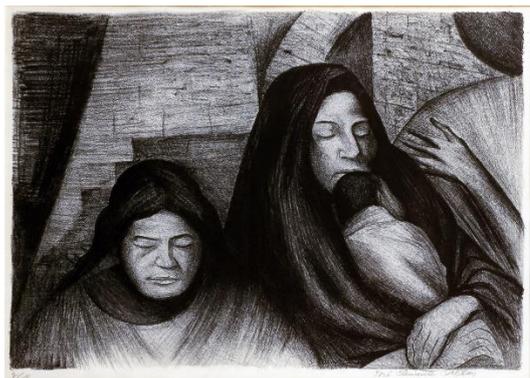
④



⑤



⑥



⑦ p. 1 掲載



⑧ p. 4 掲載



画像キャプション

- ① 芥川（間所）紗織《大木にハサマレタ若い神》1956年 | 染色・布 | 世田谷美術館蔵
- ② 福沢一郎《埋葬》1957年 | 油彩・カンヴァス | 東京国立近代美術館蔵
- ③ 利根山光人《いしぶみ》1961年 | 油彩・カンヴァス | 東京国立近代美術館蔵 | ©一般社団法人アルテトネヤマ
- ④ 河原温《20 ABR. 68》1968年 | リキテックス・カンヴァス | 名古屋市美術館蔵 | ©One Million Years Foundation
- ⑤ 岡本太郎《建設》1956年 | 油彩・カンヴァス | 川崎市岡本太郎美術館蔵
- ⑥ ホセ・クレメンテ・オロスコ《家族》1926年 | リトグラフ・紙 | 名古屋市美術館蔵（後期展示）
- ⑦ シケイロスのアトリエを訪ねる岡本太郎 | 1967年 | 画像提供：川崎市岡本太郎美術館
- ⑧ 参考画像 | イサイーアス・ヒメネス《シカ》2023年 * 展覧会には出品されません